

国際公務労連:保健サービス作業部会会議

2011年2月14、15日

および

看護師の問題について1日の追加会議

2月16日

[ジュネーブ 国際労働機関第4会議室]

議事録および報告

1. 開会

<ul style="list-style-type: none"> • 歓迎のあいさつ • 参加者の紹介 • 会議と手配事項の確認 	<p>議長: サリ・コイヴニエミ プレゼンテーション: オディレ・フランク、三井暢子</p>
---	---

PSI 保健サービス作業部会の会議が2月14日10時、サリ・コイヴニエミ議長の開会のもとで開幕した。PSI 加盟組合のメンバーおよび代議員29人、そして国連特別機関の職員(ILO のジュリア・リア、ミロスラヴァ・プロツィブ、リーナ・スー、WHO のスーザン・ウィルバーン)が自己紹介を行い、リソースパーソンを招いた(ジェーン・レスブリッジとジェーン・ピリンジャー)(添付資料1参照)。

会議出席者には、世界執行委員会およびプログラム・政策諮問グループが2009年の前回HSTF会議以降に設定した優先課題と、幅広い提案をベースに暫定議題案を作成したことを報告した。出席者は事前に全体会議を開き、質の高い公共サービス、移民ヘルスワーカー、保健部門の民営化、保健部門の暴力、労働安全衛生基準、保健部門の不安定労働に関するセッションを設けた。6つのセッションのうち3つで分科会が開かれ、出席者は小グループに分かれて意見を交わした。出席者は議題の変更を検討した。

初日と2日目のまとめおよび結びのセッションに代わる案は出されなかったが、トピックごとの各セッションが自己完結するため、これらのセッションの必要性は実際に生じなかった。これはすでに初日の時点で明白となっていたため、アユバ・フィリブス・ワバとロドリゴ・ロペス・ガルシアの議長2名の合意のもと、当初1日の終わりのセッションに充てられていた時間を、トピック別のセッションに充てることができた。

また、セッションの議長を務めることになっていたカンディス・オウリーとアショカ・アベナヤカが会議に出席できなかったことが報告された。また、ヘレン・デービス・ホワイトのフライト遅延により、出席者には議題案を適宜変更する承認と合意を求めた。

他の提案がなかったため、初日の第3、4セッション(保健ソーシャルケアにおける移民労働者、保健サービスの民営化)の順序を逆にした。2日目「保健サービスにおける不安定労働」に関するセッションの議長については、急な話で他に申し出がなかったため、マリア・アパレシダ・ゴドイが代役を務めた。また、オディレ・フランクから、初日午前予定された保健サービス民営化のセッションの議長を務める申し出があった。

セッション 2: 公共部門の資金調達と質の高い公共サービスの達成

公共サービスが多方面で削減されているが、官民両部門の労働組合、自治体、市民社会団体のリーダーらが、2010年10月12～14日にジュネーブに集まり、グローバルユニオン評議会の会議:「質の高い公共サービス — 今こそアクション！」を開催した。参加者は、経済危機の主な解決策、および平和で公正、持続可能な社会を築く方法として、質の高い公共サービスに共に投資を促すことを約束した。PSI は、質の高い公共サービス(QPS)を達成するには、十分な公的資金と公正な税制が必要であることを確認した。QPS 会議では、「質の高い公共サービスのためのジュネーブ憲章」が採択され、また、憲章を実施するためのグローバルユニオンの共同アクションを定義する「行動計画」の概要がまとめられた。 キーパーソン: ロルフ・ハンセン (Rolv Hanssen、 rolv.hanssen@world-psi.org ; +33 450 40 11 60) http://www.qpsconference.org/	議長: テレサ・マーシャル プレゼンテーション: ピーター・ウォルドルフ 書記長
---	---

初日のテーマ別セッション 1 つ目では、PSI のコミュニケーション・コーディネーター、テレサ・マーシャルが議長を務めた。PSI のピーター・ウォルドルフ書記長は、質の高い公共サービス(QPS)キャンペーンの目的と行動計画の概要を紹介した。

ピーター・ウォルドルフは、キャンペーンが策定された背景、すなわち、金融部門に始まり、雇用を直撃した世界危機に注意を促した。書記長は、MDG を達成するためにどれだけの対応が必要であることを強調し、世界的なバランスの変化を示唆した。また、QPS が危機から脱出するために必要な要素としてとらえられていることを強調した。CGU キャンペーンでは、正義ある持続可能な社会を構築するために、公共と民間の組合が QPS を共に求めている。だが同時に、公共部門の労働者は経済回復の遅延を理由に攻撃と非難の対象となっており、組合は多くの国で窮地に立たされている。組合は、反撃の方法を見つけなければならない。社会が不平等ではなく平等の拡大でこの危機を脱するためには QPS への投資が不可欠であることを主張することが重要になる。また、QPS は質の良い公共サービスの提供だけに関するものではない。一部の富裕層ではなく多くの市民の利益に与する社会のビジョンにも関係している。QPS は労働組合のイメージを改善しながら、人々に雇用と機会を創出することでもある。

QPS キャンペーン最初のステップでは、都市部に焦点を当てる。都市化は世界的な現象であり、困難を伴うケースが多い。都市のニーズは多く、上下水道、住居、電気・ガス、運輸、道路整備、港湾、空港、廃棄物除去、治安、教育、ヘルスケア、環境開発(と保護)など、公共サービスが対応していることがほとんどである。重要なのは、都市には腐敗のない良き統治と管理が必要である点だ。

グローバルユニオン・フェデレーションには、OECD 労働組合諮問委員会や PSI をはじめ、13 団体がある。PSI のほか、ITF、EI、BWI、UNI も QPS キャンペーンの前線で活躍している。そのほかの GUF も取り組んでおり、市民と企業の両方が、繁栄を養う条件へのアクセスを可能にする機能的な社会を頼りにしている。

都市への注目が主要な活動となることから、PSI には全国の加盟組合、とくに選ばれた都市の住民の強力な支援が必要となる。会議出席者は、ロルフ・ハンセン、テレサ・マーシャル、ピーター・ウォルドルフに都市の提案をするよう依頼を受けた。

QPS を達成するための費用として、公共サービスの資金に、個人と企業の両方から税収が得られる公正な税制を組み込まなければならない。PSI は FTT キャンペーンをサポートし、引き続き進歩的な税制の開発に貢献する。

今年の QPS 賞の授与式は 6 月 23 日の国連公共サービスデーに執り行う。HSTF の出席者にも、受賞者の指名が求められた。

セッション 3:保健サービスの民営化

<p>保健サービスの民営化による費用便益の評価と効率の変化は、費用便益の測定およびサービス効率の評価方法という問題を生む。ヘルスケアの提供は患者が受けるサービスだけでなく、患者が受けるケアの質にも依存する。ヘルスケアの提供は労働集約型の活動であり、その質は労働者のコンディションに大きく左右される。</p> <p>PSIRU が保健部門に焦点を当てて行った証拠に基づく分析では、1) 民間部門が公共サービスを管理すると、消費者が支払うサービス費用が高くなる、そして、2) 競争と利益の導入は、調達と提供における腐敗を拡大する、という 2 点の主張を吟味する。</p> <p>目的: 加盟組合が直面する民営化について、もっとも重要で急を要する問題に関して HSTF 参加者の意向を調査する</p> <p>キーパーソン: ジェーン・レスブリッジ (Jane Lethbridge、j.lethbridge@gre.ac.uk; +44 208 331 7781)</p>	<p>議長: オディレ・フランク (キャンディス・オウリーの代役)</p> <p>プレゼンテーション: ジェーン・レスブリッジ</p> <p>グループ 1 議長: ピンダ・ボウエシジャウ・アコワ 報告者: ミシェル・ボウクレア</p> <p>グループ 2 議長: ジェニファー・ホワイトサイド 報告者: マーガレット・ステフェン</p> <p>グループ 3 議長: ミランガ・イレーネ・ノンサンサ 報告者: カレン・ヒギンス</p>
---	--

初日 2 つ目のテーマ別セッションでは、キャンディス・オウリーが欠席したため、PSI 保健サービスオフィサーのオディレ・フランクが議長を務めた。オディレ・フランクは、公的保健サービスを擁護するためのキャンペーンと情報用に、PSI が加盟組合に証拠に基づく資料を企画・提供することができるよう、民営化が保健部門に与える影響のメタ分析をジェーン・レスブリッジに依頼したことを説明した。

ジェーン・レスブリッジは、グリニッジ大学ビジネススクールの主任講師である。2001 年以降、公共サービス国際研究所 (PSIRU) に拠点を置く。研究の焦点は、保健・ソーシャルケアサービスの世界的な商業主義、および自由化・民営化への労働組合の対応である。以前は国の公衆衛生機関の政策顧問を務め、NGO の運営や独立政策コンサルタントとしても活躍した。

ジェーン・レスブリッジは、市場と民営化が保健部門に与える影響について詳しく述べた、進行中の研究についてプレゼンテーションを行った。ジェーンのプレゼンテーションは PSI のウェブサイトにも掲載した:

www.world-psi.org/TemplateEn.cfm?Section=Meeting_documents&CONTENTID=27160&TEMPLATE=/ContentManagement/ContentDisplay.cfm

出席者は次に、3 つの分科会に分かれて、保健部門に関する以下 3 点を考察するよう求められた。

1. 民営化について一番懸念される問題は何か
2. 個々の加盟組合の行動について、HSTF が展開できる付加価値ある行動は何か
3. PSI 本部は民営化への対応策を進め、加盟組合を援助するために何ができるか

1. 出席者が民営化について一番懸念していた問題

- 労働力商品化の社会的費用
- 質、公共サービスの仕事の数、国民の社会保護の低下
- 生産性の測定における精選と恣意性
- 社会保護の問題からの国の撤退
- 専門チームの分裂
- 健康増進政策と治療薬への注目に負の影響
- 交渉能力の喪失
- 女性労働者の不安定と貧困拡大

- 予防衛生、地域衛生、地方衛生、高齢者の健康が見捨てられた(orphan)トピックとなる
- 公衆衛生の規範的目的が、細分化された具体的な効率目標に置き換えられる
- 労働条件の悪化:手当と既得権の喪失

作業部会は、負債に苦しむ地域、地方、国家政府に対する自由市場の圧力を理由に、これが世界規模の問題であると認識した。出席者は、洗濯、清掃、医薬品などの周辺保健サービス事業における公共サービスの衰えと、健康保険の民営化に懸念を表した。途上国の多くは、公衆衛生制度の維持と強化に奮闘している。途上国では利用料の導入または値上げが市民の動揺を招いた。

2. 個々の加盟組合の行動について、HSTF が展開できる付加価値ある行動として出席者がまとめた活動

- 以下に対するキャンペーンと行動を支援する
 - 政府と議会の委員会をロビーする
 - 市民社会とのパートナーシップを確立する
 - メディアとの取組み
- 民営化への動きを阻止し、モラトリアムを成立させる、および民営化を第三次サービスに限定する取組み
- ユニバーサルアクセスと手ごろなサービスを国民に保証するために前向きな規範となるキャンペーンを策定する
- 以下について、利用者の意識を向上させる
 - 公的機関のサービスの利点と、公共システムへの投資収益が高いことを示す証拠
 - 営利目的により、質が低下し、患者の健康が脅かされる可能性
 - 国家の撤退のマイナス面
 - 不当な競争により患者が危険にさらされる可能性
 - 短期的な利益(疑わしい)に基づく政治的なご都合主義の危険。公選役人の後継によって持続する長期的費用の増大を伴う
- 不健康で利益を得る多国籍企業を公表し、利益を公開する(これを目的としたデータベースの作成)
- 予防と健康増進への投資の証拠を支持する
- 社会対話プロセスへの再投資と強化
- 公的保健サービスへの攻撃の主要因について一般に理解を仰ぐ

出席者は、先進国で得られた負の教訓(アメリカの例など)を活用して、途上国のキャンペーンを支援できることに留意した。また、世界の組合が、この種の情報交換に努め、途上国の組合が患者のために保健制度を改善する力を助け、全世界で迅速に連帯支援を行うべきであると結んだ。

3. PSI 本部が民営化への対応策を進め、加盟組合を援助するために何ができるか、出席者による結論

1. インタラクティブなネットワークによる通信プラットフォームを設置し、情報と経験を共有する
2. グローバルユニオン・フェデレーション、患者、NGO その他など、組合の資質を高める同盟を結成し、広める
3. ブレトンウッズ機関とより大々的に対話をする
4. メディアを通じて市民との対話を強化する
5. 民営化を定義し、それに対し軸となる議論をまとめる。民間のサービスが、高齢者介護や公衆衛生といった「見捨てられた」問題を置き去りにする利益主導型であることを明白にする
6. 民営化の良い事例と悪い事例について証拠を集める。キャンペーンを提案し、研究を行い、キャンペーンを支援するためのグッドプラクティスと事例を特定する
7. 主な多国籍企業に関する情報を調整する
8. バッドプラクティスを公表する

9. 政府の民営化構想を晒す
10. 国家戦略を支持する
11. 国が保健サービスに責任を有するという原則を推進する
12. QPS 憲章の一環として、質の高い公的保健制度の認知度を高める
13. 健康は特権ではなく権利とつながるという規範上の立場を推進する

議長は、出席者が共にフォローアップとして 3 つの主な意義を確認したと結んだ。

1. a) 同盟、b) メディア、c) 海外の公的制度 (ポイント 1 から 4) を強調し、PSI 加盟組合にインタラクティブなツールを提供するためのウェブ開発など、PSI 本部での通信戦略に対する意味合い
2. 市場化と民営化 (ポイント 5 から 9) に関する批判的なレビューや情報収集に従事する必要性
3. QPS キャンペーンなど、保健に対する公共部門の任務に堂々と前向きな姿勢でいることと、その推進

セッション 4: ヘルスケア、ソーシャルケアにおける移民労働者

<p>「国際移住とヘルスケア・ソーシャルケアワーカーの移住」に関する PSI の 3 か年プロジェクト (2010～2012 年) は、アドボカシー活動、対話、研究、広報活動、能力養成、組織化を通じて、公共部門労働組合が移住の原因ならびに、それが公共サービスと労働者の権利に及ぼす影響に取り組む能力を強化することを目的とする。計画策定会議は 3 つの試験国で行われる (2011 年 9 月にケニア、2011 年 10 月に南アフリカ、2011 年 11 月にガーナ)。プロジェクトでは、ヘルスケア・ソーシャルケア部門の机上レビューおよびマッピングと併せて参加型リサーチが実施される。この結果は、PSI が経済危機、人口動態変化、不安定雇用の拡大という背景で移住が呈する新たな問題に対処するための労働組合ツールを考案するのに役立つ。</p> <p>目的: HSTF 参加者はリサーチについて学ぶこと、加盟組合は参加することが求められる</p> <p>キーパーソン: ジュヌヴィエーヴ・ジェンシアノス (Genevieve Gencianos) (Genevieve.Gencianos@world-psi.org; +33 450 40 12 14)</p>	<p>議長: ヘレン・デービス・ホワイト プレゼンテーション: ジュヌヴィエーヴ・ジェンシアノス、ジェーン・ピリンジャー</p>
--	--

ヘレン・デービス・ホワイトは初日 3 つ目にあたる最後の実質会議の議長を務め、開会にあたり、カリブ地域における保健部門の移住の役割を説明した。

ジュヌヴィエーヴ・ジェンシアノスとジェーン・ピリンジャーの両者がプレゼンテーションを行った。プレゼンテーションは PSI のウェブサイトで見ることができる。

www.world-psi.org/TemplateEn.cfm?Section=Meeting_documents&CONTENTID=27160&TEMPLATE=/ContentManagement/ContentDisplay.cfm

プレゼンターは次に会場と議論を交わした。

ジェーン・ピリンジャーは国際社会政策、ジェンダー、移住問題に取り組む独立研究・政策顧問。現在は保健・ソーシャルケアにおける国際移民労働者について、PSI 向けに研究をしている。この中でケニア、ガーナ、南アフリカ、そして移住先の国で質的・量的リサーチを行った。ジェーンは世界の政府、国際組織、労働組合、NGO に助言を行う。また、世界的な社会政策、移民の女性化、職場と社会政策における男女平等に関する問題について広く出版を手掛けている。ダブリンに拠点を置く。

プレゼンテーションと議論の結論は、保健・ソーシャルケア部門における移住の影響について、課題と傾向に世界で共通点があるということであった。重要な要因は、先進国にまず重大な影響を与える高齢化の人口動態的現状であった。これは年金、そして高齢者を担当する保健部門の人材配置など、保健医

療のニーズに関わってくる。先進国は人材配置のニーズを満足させることができず、その結果、短中期的に国際的な求人に充てる財源はあるという事態も出てくるだろう。

HSTF 会議の出席者から全体として前向きな反応が得られた。また、ジェネヴィエヴ・ジェンシアノスとジェーン・ピリンジャーが提示した参加型リサーチへの従事にも意欲を見せた。出席者の反応では、情報と証拠の収集、分析などリサーチの重要性、そして政策アドボカシーのためのツール作成、PSI と加盟組合が移住問題に対処するにあたり支援を行うための組織化と団体交渉の重要性が強調された。

2010年の「ヘルスワーカーの国際的求人に関するWHO世界行動綱領」は優れた文書であるものの、移住の負の影響を緩和するには不十分であるとの見方が一般的である。例えば、文書の中で保健の専門組織に言及があっても、労働組合には触れられていない。さらに、保健省と労働省が必ずしも監督能力を持たない民間の求人機関の役割が重要な要因となっている。

公共部門の労働組合は、WHO綱領とその他、2008年4月7日に採択されたEPSU-HOSPEEM「病院部門における倫理的な越境求人・引き止めに関する行動綱領」(<http://www.epsu.org/a/3715>)、2008年に作成された「外国で教育を受けた看護師を米国で採用するための自発的倫理行動綱領」(www.fairinternationalrecruitment.org/index.php/the_code/)など、倫理的な求人原則の適用を達成し、権利に基づいた移住および雇用政策の確立を推進するための政策ツールとして既存の自発的綱領を活用するという課題に全面的に立ち向かっている。

保健サービス作業部会の出席者は、ナイジェリア、シエラレオネ、フィリピン、フィンランド、ノルウェー、ドイツ、イギリス、アイルランド、カナダ、アメリカ、オーストラリア、日本、コスタリカ、ニカラガア、ブラジル、パラグアイ、ベネズエラの保健・ソーシャルケア部門における移住の参加型リサーチとマッピングに、加盟組合を参加させることを申し出た。加盟組合の代表も、確実に普及に努め、各地域ネットワークとグルーピング(西アフリカ、中米、カリブ地域、Corrosur、アンデス地域)を通じたPSIのリクエストへの対応を奨励するよう提案した。

参加型リサーチに地域・小地域のニーズが反映されるよう、PSIは各地域に適したリサーチの企画と調整について、全国・小地域レベルで窓口を設けながらフォローアップを実施する。

「保健・ソーシャルケア部門における移住の参加型リサーチとマッピング」は、WHO「ヘルスワーカーの国際求人に関する世界行動綱領」およびPSI独自の「倫理的求人キャンペーン」の実施と併せて進められる。リサーチを終え、最終的な世界報告を11月27～30日に南アフリカのダーバンで開かれる2012年PSI世界大会に提出することが計画されている。

セッション5: 職場における暴力

PSIはこの問題に引き続き大きく注目していく。ILO、ICN、WHOと共に、PSIは2001年、保健部門における職場の暴力に関する共同プログラムを設置した。2005～2005年には8つのケーススタディを行い、枠組みガイドラインおよび補足的な訓練マニュアルを作成した。保健部門における暴力はそれ以来、2つの国際会議でも取り上げられ、2012年10月24～26日には、カナダのバンクーバーで「保健部門における暴力に関する第3回国際会議」が予定されている(国際会議のキーパーソン:ニコ・ウード(Nico Oud, www.oudconsultancy.nl; +31 20 409 0368)。暴力には、心理的暴力(暴言:怒鳴る、ののしる、侮辱する、脅す、いじめ、いやがらせ)から、殺人を含む身体的暴力(暴行:唾を吐く、手による攻撃、物品、武器、動物の使用)まで一連の行為が含まれる。加害者には、保健サービスに従事する労働者、患者、患者の家族、市民が挙げられ、被害者は保健サービスに従事する労働者や患者である。節約と効率を拡大するための削減により、待ち時間が延び、ヘルスワーカーの労働量が増える。これによりヘルスワーカーと患者、その家族のストレスが増す。

議長:ジュディス・キエ
ジャ
プレゼンテーション:ヤ
ミニ・アドベ、ビクラマン
ドゥス・ビーソン、イワ
ナ・ブレンコワ、シティヴ
エニ・トゥヴォ、スラワ・ザ
ラタノワ
グループ1議長:マリ
ア・アパレシダ・ゴドイ
デ・ファリア
報告者:サミア・レタイ
フ・ボスラマ
グループ2議長:キム・

<p>目的: 監督の必要性、および可能な基準の策定(ガイドライン、綱領、認定・資格、監査)に取り組むためのワークプランを策定する</p>	<p>オストヤコブセン 報告者: シアン・デビース グループ 3 議長: ロスニ・ブツェ・アジス 報告者: マイケル・ライティ</p>
--	---

ジュディス・キエジャは、2日目の第1セッションの議長を務め、オーストラリアの保健部門における暴力について紹介を行い、看護師が亡くなったという先ごろの悲劇に触れながら開会を行った。プレゼンテーションは、2010年10月27～29日にアムステルダムで開かれた「保健部門の暴力に関する第2回国際会議: 意識から持続可能な行動へ」に参加したPSI加盟組合メンバー5名が行った。ブルガリア、チェコスロバキア、フィジー、モーリシャス、インドのプレゼンテーション5件は、PSIウェブサイトで見ることができる。

www.world-psi.org/TemplateEn.cfm?Section=Meeting_documents&CONTENTID=27160&TEMPLATE=/ContentManagement/ContentDisplay.cfm

www.world-psi.org/TemplateEn.cfm?Section=Meeting_documents&CONTENTID=27160&TEMPLATE=/ContentManagement/ContentDisplay.cfm

<p>ヤミニ・アドベの職業は外科医。現在全インド・カントンメント委員会職員連盟の女性局長を務める。専門は青少年のキャリアカウンセリングであり、ニューデリーの全インド人権協会の顧問でもある。</p>	<p>ビクラマンドゥス・ビーンソは、1976年に保健・生活の質省に入り、現在は特別眼科病院の上級薬剤師である。1992年以降、政府サービス職員連盟の管理委員会に加わり、現在は副委員長を務めている。国家・諸職員連盟の書記長補佐、自由労働組合連合の事務局員、PSIモーリシャス全国調整委員会の副委員長、QPSキャンペーン全国コーディネーターでもある。</p>	<p>イワナ・ブレンコワは、農業大学運用経済学部卒。チェコ共和国保健サービス・ソーシャルケア労働組合加入前は、民間部門の団体交渉と職業訓練に取り組んだ。専門は賃金、団体交渉、社会対話。2006年、2010年に副委員長に選ばれる。</p>	<p>シテイヴェニ・トウヴォは看護の学位とリプロダクティブ・ヘルスの資格を有する。臨床看護を専門とする看護師として10年従事している。HIV/エイズ患者の治療にあたるリプロダクティブヘルス・クリニックに勤める。PSI青年メンバーであり、フィジー看護師協会(スヴァ支部)の副委員長でもある。</p>	<p>スラワ・ザラタノフはブルガリア組織労働者独立連合(CITUB)の公衆衛生連盟副委員長である。専門は団体交渉と男女平等。公衆衛生に従事する労働者の72%およびCITUBメンバーの78%が女性であることから、CITUBの女性委員会、およびCITUB女性議員協会の書記を務める。ブルガリア看護師連盟とも積極的に取り組んでいる。</p>
--	---	--	--	---

出席者は次に、3つの分科会に分かれて、保健部門に関する以下3点を考察するよう求められた。

1. 暴力に関する問題のうち、どれが一番懸念されるか
2. 個々の加盟組合の行動について、HSTFが展開できる付加価値ある行動は何か
3. PSI本部は暴力への対応策を進め、加盟組合を援助するために何が出来るか

1. 出席者が暴力について一番懸念していた問題

- 職場の暴力が増加しているという全体的な印象
- 暴力が管理されていない問題
 - 暴力の話は秘められることが多い
 - 責任を負うべき人物を公表していない点
 - 何の措置も取られていないことが多い
 - 暴力は「普通ではない」ことを労働者に認識してもらう必要性
 - 労働組合とメンバーに、暴力は「仕事の一環ではない」ことを理解してもらう必要性

- さまざまなレベルの暴力が認識されるようにする。いじめ、言葉の暴力は身体的な行為と同じく暴力的である
- 暴力は「外」の問題ではなく、職場に特有の問題として認識されるようにする必要がある
- 被害者が烙印を押されたり、責められたりする問題に対処する
- 労働条件における暴力のリスクの主要因を特定する必要性
 - 職員不足とそれによる単独勤務の増加
 - 施設の不足(職員も)とそれによる患者の待ち時間の増加
 - シフト労働とそれによってチームの団結が失われること
 - ストレスがたまりやすい条件での人種差別
- 暴力、および民営化など暴力の背景に関するリサーチの欠如
 - 精神衛生、在宅ケア、高齢者介護など専門化されたサービスの需要
- 以下において暴力の対応や管理がなされない場合、それがもたらす結果を強調する必要性
 - 健康リスク
 - 常習欠勤
- 以下など、職場における暴力に対応しうる手段を適用する必要性
 - 職場の暴力に関する国家政策
 - 仕事の再編成
 - 社会対話の活用
 - 暴力のエピソードを開示し管理するトレーニング

2. 個々の加盟組合の行動について、HSTF が展開できる付加価値ある行動として出席者がまとめた活動

- 以下のような根本的な問題に対応する
 - 人材の配属
 - 待ち時間
- 以下に対する個々の責任を強調する研修プログラムの設置
 - 組合員
 - 公衆。意識向上キャンペーンを含む
 - 経営
- 暴力のゼロトレランス方針のモデルと、容認できない行為に対するヘルスワーカーの行動規範と期待される行動、苦情処理手続き、罰則の策定
- 暴力の苦情を受け止め、それについて被告側から回答が得られるようにする
- 暴力事件の管理に、報告聴取、事件の審議会、事後評価を含めるようにする
- 以下など、暴力の予防と安全な職場のためのガイドラインを設定する
 - 後輩や経験の浅い職員の社内指導
 - 基本的な保安手順
 - 施錠の方針
 - 労働者が潜在的な危害から脱することができるようにする
- 共有と交換
 - ケーススタディ
 - 会議で得た知識
 - キャンペーン
 - グッドプラクティス
- 加盟組合が職場の暴力に地域の注目を集め、職場の解決策が地域の暴力に関する文化の変化媒体となるような方法を策定する取組みを支援する
- 職場での不適切な行動の定義について市民社会と共に取り組む

3. PSI 本部が暴力への対応策を進め、加盟組合を援助するために何ができるか、出席者による結論

1. 加盟組合による経験とケーススタディ、キャンペーン、良い暴力反対プログラムの共有を手伝うファンリテーターとなる
2. 暴力を是認する国の公表
3. 以下のようなトピックについてリサーチをまとめる
 - 暴力の根本的な要因
 - 民営化の影響
 - 外部委託したサービスの影響
 - 国・地方の法制の影響
 - 在宅ケア、高齢者介護、単独作業の状況
 - 暴力事件の報告が実際より少ないこと
4. 暴力に関する EPSU の取り組みを参考にする
5. 労働省内、および女性労働者のために意識向上キャンペーン、職員の教育と研修を推進する
6. キャンペーンをコーディネートし、会議を主催する
7. 職場の暴力に対する法律を推進する

まとめとして、主に**3つのフォローアップ活動でPSIの役割が定義された。**

1. PSIウェブサイト、以下について情報交換するためのプラットフォームとして活用する
 - リサーチに関する情報の発信
 - ケーススタディ、キャンペーン、暴力反対プログラムを加盟組合が広める
 - 良い事例と悪い事例を投稿する
2. 暴力の主要因、民営化の影響、下請け業務、在宅高齢者介護、単独作業、法律の役割、暴力の疫学に関する研究を集める
3. 暴力に対する法律、訓練、キャンペーンを推進する。暴力反対のキャンペーンと会議の調整を助ける

セッション 6: 労働安全衛生基準の保護と強化

<p>ILO 基準、WHO 決議およびガイドライン、国連決議、国連特別機関の共同ガイドライン (WHO、ILO、UNAIDS など) といった国際基準は、すべての労働者およびヘルスワーカーを保護するものであり、PSI はこれらの基準の適用とグッドプラクティスの周知および奨励に役割を果たしていく。PSI はヘルスワーカーの健全な維持に努め、1) 血液感染性の病気に対する普遍的予防措置および B 型肝炎ワクチン、2) とくに格納式注射器など安全に製造された注射器具の使用、3) ヘルスワーカーを守るために、HIV などの暴露後予防が得られるかどうか、およびその活用について、プロモーション用のビデオを作成している。PSI はまた、職場の危険をなくし、職場の暴力 (先の議題項目参照) を予防および管理することにより、すべての医療現場を健全に保つよう努力している。</p> <p>グローバルユニオン・フェデレーションは、共に、労働者の労働安全衛生の問題に広く取り組むことができる。</p> <p>目的: 以下を保護する必要性に応えるためのワークプランを作成する:</p> <p>a) グローバルユニオン・フェデレーションと共に取り組むことにより、労働者の健康と安全を守る</p> <p>b) 危険と劣悪な慣行に関してヘルスワーカーの意向を調査することにより、ヘルスワーカーの健康と安全を保護する</p> <p>キーパーソン: オディレ・フランク (Odile Frank (odile.frank@psi-world.org); +33 450 40 11 50)</p>	<p>議長: イワン・アングロフ・ココロフ プレゼンテーション: オディレ・フランク 針刺し損傷の予防に関するビデオの試写</p>
--	---

イワン・アンゲロフは2日目の第2セッションの議長を務め、PSIでの労働安全衛生の長年の役割に触れながら開会を行った。オディレ・フランクは、プレゼンテーションをPSIウェブサイトで見ることができるようにした。

www.world-psi.org/TemplateEn.cfm?Section=Meeting_documents&CONTENTID=27160&TEMPLATE=/ContentManagement/ContentDisplay.cfm

さらに、針刺し損傷の予防に関してPSIが公開予定のビデオから、短い抜粋を紹介した。

オディレ・フランクはプレゼンテーションの中で、PSIがヘルスワーカーの労働安全衛生を重要視し、注目していることを強調した。労働安全衛生はPSIの取り組みの証である。2008-2012年質の高い保健サービスキャンペーンは、HIV、B型肝炎、職場の暴力のリスク軽減に重点を置く。このキャンペーンでは、保健部門における暴力に注目を促すこと、針刺し損傷の予防を推進するビデオの制作も目指す。質の高い保健サービスキャンペーンの他の側面、すなわち保健の職場の再デザイン、サービス提供の改革にヘルスワーカーを参加させることなどを、新たな労働安全衛生に統合させる。

保健サービスの活動に、新たに目玉を加えることも提案された。HIVのリスク低減に関連するものとして例えば、アフリカの一部地域のようにHIVが蔓延している国だけではなく世界全体の連帯として、ヘルスワーカーおよび公共部門労働者全員の自発的なHIVカウンセリングや検査を推進することがその一つとして挙げられる。

また、PSIが他のグローバルユニオン・フェデレーションと協力し、HIV(すでにグローバルユニオンのエイズプログラムが存在する)以外の労働者の健康問題にも取り組むことがもう一つの目玉となる。この方向において、特に、ILOの条約と勧告、WHOのガイドラインと決議、さらに経済の全部門で労働者の健康増進に努めるための国家法、規制、ガイドラインなど、労働安全衛生に関する国際基準・標準を扱うデータベースの作成が重要なステップとなるだろう。

PSI加盟組合のメンバー2000万人のうち700万人が保健部門に従事する一方、以下の分野では1300万人が従事していることに留意することが重要になる。

- ガス、電気、水道の生産と供給
- 廃棄物の除去、加工、再生事業
- 環境・社会サービス
- 教育以外の教養、文化、娯楽サービス
- 道路、建物の建設と保守

このような経済活動は主に公共部門であるが、他のグローバルユニオン・フェデレーションのメンバーの経済活動とも重複している。これはつまり、労働の分野と労働安全衛生の問題が、グローバルユニオン・フェデレーションに共通しており、PSIは関連付けを行うことができるということでもある。

PSIは基準の普及と推進だけでなく、その基準の源との協議、そしてILO構成員としての役割、新たな勧告と条約の作成において、さらに労働安全衛生の問題に関してWHOから相談を受けた場合に重要な役割を果たすことができる。さらに、PSIは技術的支援のツールを作成し提供することができる。また、団体交渉規定に労働安全衛生の条項を設ける戦略、そして特定分野(とくに保健サービス)の労働者引き止めを増加させるうえで、労働者の健康増進が果たす重要な役割を強調する助けとなることができる。

HSTF の出席者は、労働安全衛生に関してPSIメンバー全体が懸念する問題に、自発的な助言を行うよう求められた。また、清潔な水の供給、有毒物質への暴露、負傷など、グローバルユニオン・フェデレーションが対処できる労災テーマにアイデアを募った。

PSIとグローバルユニオン・フェデレーションは、取り組みにおいて、WHOの*Workers' health: global plan of action*(労働者の健康:世界行動計画)の助けを借りる。また、ILOの部門、SAFEWORK、SECTOR

と協力して取り組むことができるだろう。ILOとPSI両者の役割は、WHOの*Workers' health: global plan of action* の作業計画目的にすでに盛り込まれているが、新たな取り組みが可能な重要分野は、労働者の健康を非保健分野の政策とプロジェクトに一体化させるという最後5番目の目的である。これは、労働安全衛生条項を団体交渉協定に盛り込む余地を生む。

これらの提案は出席者が議論した。労働安全衛生基準を維持し、労働安全衛生の規制を緩和するという現在の経済的動向に反論する重要性がコメントで指摘された。QPSでは、すべての職場と分野において、いかなる場合でも労働者の保護を重視することが強調された。欧州地域では、労働安全衛生の法的基盤は良好であり、議題でも優先的に扱われているが、多くの地区で、労働安全基準が経済を「減速させる」要因であると認識されていることが指摘された。

提案の承認の具体例2つ

1. PSIは他のグローバルユニオン・フェデレーションと共に、水媒介性または水に関連した病気など、水と衛生の問題に取り組むことができる。これは途上国にも適したトピックとなる
2. PSI本部の保健サービス部門が後援するHSTFは、労働安全衛生擁護の中心に立ち、「良い」職場に関する知識基盤の発展に基づいて労働安全衛生基準の侵害と戦う

セッション7:保健サービスにおける不安定労働

不安定労働は、その影響を受ける部門とグループによって様相が異なる。派遣企業による契約、期限付きの契約、臨時契約の拡大、および外注、外部委託、民営化の拡大により、労働者の権利の源である使用者、または労使関係の特定がますます困難になっている。公共サービス全体で人間らしい雇用の保証が損なわれているということつまり、女性、若手労働者、移民労働者には最悪の影響が及んでいることでもある。不安定労働は所得を減らし、労働組合権と労働権を奪う。使用者は年金基金に寄与せず、労働安全衛生などの問題は無視され、労働者は怪我や労働災害による失業を恐れるようになる。こうした状況では交渉チームが委縮し、組織力、および労働組合の密度が弱まる。つまり団体交渉権がなくなり、差別、嫌がらせ、暴力が増加する。

目的: 不安定なヘルスワーカーに労働安全衛生を維持し、組織化の方法をさぐる

キーパーソン: チディ・キング (Chidi King (chidi.king@world-psi.org; +33 450 40 11 70))

議長: マリア・アパレシダ・ゴドイ・デ・ファリア

プレゼンテーション: チディ・キング

グループ 1 議長: 鈴木崇文

報告者: マリヴォンス・ニコール

グループ 2 議長: ヘレン・デービス・ホワイト

報告者: タルジャ・ホンカランピ

グループ 3 議長: エリザベス・アダムス

報告者: ポーリン・ウォスフォールド

2日目の最後のセッションは、アショカ・アベナヤカが欠席したため、マリア・アパレシダ・ゴドイが議長を務めた。

チディ・キングは、PSIの均等法オフィサー。男女平等、若手労働者、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスセクシャル、人権、労働組合権を担当する。イギリスのTUC会議で雇用権オフィサーとして勤務した後、2007年にPSIに加入。雇用法を専門とする。

チディ・キングは保健サービスにおける不安定労働の問題の概要を説明し開会。保健・ソーシャルケア部門において、外部委託と民営化の拡大を伴う不安定労働関係が多発していることに言及した。そして、この現象が女性や若手労働者、移民労働者に偏った影響を与えることを強調した。

不安定労働は、雇用関係で受け継がれるリスクを雇用者から労働者に移し、労働権を伴う雇用関係の特定を困難にし、組合の団結と団体協約の締結を阻害し、組合の密度を弱める。労働者の権利の尊重と、

人間らしい労働条件を受ける権利が、持続されるサービスの基準、さらに提供されるサービスの質に関係してくることは避けられない。これはヘルスケアの提供に特に関係してくる。

また大事な点として、不安定労働協約は、以前は大部分が洗濯、清掃、保安といった「非中核的」周辺保健サービスに限定されていたが、現在はそのような協約が中核的な保健・ケアサービスでも使われるようになっていくことが挙げられる。

不安定労働の問題は、すべての部門に及んでいるため、グローバルユニオン評議会は問題に対処する作業部会を設置しており、PSIもメンバーとなっている。

不安定労働の制限に向けた活動の一環として、PSIは2011年の3月と4月に、不安定労働がPSI加盟組合が取り組む部門にどのような負の影響を与えるか、その証拠となる基本データを集め、将来的にその展開を記録できるようにするための調査に乗り出している。調査で集められたデータは、情報ツールと戦略の開発に活用し、2011年10月4～7日に開かれる「不安定労働に関するACTRAVシンポジウム」で報告する。

PSIはEPSU傘下の欧州地域加盟組合と共に、1949年のC94労働条項(公契約)条約(「公共調達」条約とも呼ばれる)の推進と批准に取り組んでいる。サービスが委託、外注・外部委託され、それに公的資金が投入される場合、条約の適用により、同じ地域の同種の労働に適用される賃金と労働条件と同程度かそれ以上の賃金および労働条件が確保できる。しかし条約の批准はわずか61か国と少なかった。また1国(イギリス)は早期に批准を決めたものの、その後破棄した。

2011年6月に開かれる第100回国際労働総会の議題には、採択が期待される「家事労働者のディーセントワーク」に関する条約および勧告を扱う基準設定委員会の2年目の取り組みも盛り込まれている。PSIは家内で介護を行う労働者が増加しているにもかかわらず、法的・社会的な保護がなされていないことが多いことから、この基準に特別な関心を寄せている。基準の定義と適用範囲は、同等またはそれ以上の法的保護をすでに受けていない労働者を対象とすべきである。看護師など、資格を有する保健関係者は、条約の適用から明らかに外れる可能性が高い。

プレゼンテーションの後、出席者は3つの分科会に分かれて、保健部門に関する以下3点を考察するよう求められた。

1. 不安定労働に関する問題のうち、どれが最も懸念されるか。
2. 個々の加盟組合の行動について、HSTFが展開できる付加価値ある行動は何か
3. PSI本部は不安定労働への対応策を進め、加盟組合を援助するために何ができるか

1. 出席者が不安定労働について一番懸念していた問題

- 使用者はますます不安定労働契約に移行している。これにより以下が生じる
 - フルタイム労働が直接失われる
 - 暫定、臨時、非正規、短期、パートタイム労働など、不安定な契約形態の急増
 - 年金、保健手当、病気休暇などの基本手当が直接失われる
- 1つの施設の雇用者がさまざまな契約のもとで雇用されているため待遇に不平等が生じ、チーム精神が失われる
- 在宅ケアや高齢者介護などの個別の契約で雇われた不安定労働者は、所在の特定や団結、保護が困難である
- 機関に雇われた不安定労働者は団結や保護が困難である
- 不安定契約のもとで働く被雇用者は、超過労働を行いがちで、それについて不明も言えず、チームの救済を頼りにすることもできない

- 炊事、清掃サービスなどの支援サービスの外注が、MRSA(多剤耐性黄色ブドウ球菌)や他の院内感染菌などの既知のリスクを高め、感染対策を困難にする
- 全体として不安定雇用の条件は、ケア基準の維持や質の高いサービス提供をもたらす助けとはならない。民間のサービスでは患者が優先されない。利益が優先される。不安定労働者は、労働の継続を何よりも優先する

2. 個々の加盟組合の行動について、HSTF が展開できる付加価値ある行動として出席者がまとめた活動

- さまざまなアウトリーチを通じて不安定労働者を組織化に含める戦略を策定するため、労働組合の組織化の慣行を見直す
- 不安定労働契約のタイプ、短期間、適用性を限定する法律など契約の文面の証拠と、不安定労働に対処するグッドプラクティスを集める
- 以下に関する証拠を集める
 - 民営化の動機。民営化を制限する議論を展開するため
 - 保健医療現場の不平等待遇に内在する差別を非難する
- 公的機関(政府)と共に、労働非正規化への反論を練るよう努める。ヘルスワーカーの労働条件だけでなく、以下に負の影響を与えるためである。
 - 保健医療制度
 - 患者のケアの質、安全、継続性
 - 感染症対策の能力。患者だけでなく地域社会全体を危険にさらすため
 - 地域の健康に波紋を広げるヘルスワーカーの労働安全衛生
 - 政府と市民に対するサービスの直接および間接的コスト
- 労働組合がメンバーだけでなく、市民全体の福利と権利を大事にしていることを強調する立場をとり、宣言する。

3. PSI 本部が不安定労働への対応策を進め、加盟組合を援助するために何ができるか、出席者による結論

- HSTF 出席者は、PSI が不安定労働と戦う基盤を敷くため、不安定労働に関するベースライン調査を支持し、調査に応じる
- HSTF 出席者は、不安定労働と戦うための証拠ベースを提供するため、不安定労働に特別な言及をしながら、民営化が保健部門に与える影響のメタ分析について、これまで継続されてきた取り組みをサポートする
- 出席者は、PSI がグローバルユニオン・フェデレーションと協力して継続的に行ってきた不安定労働への対策を承認し、不安定労働が保健部門だけに限ったものではないことを認識する
- 出席者は PSI が労働者の権利のためにこれまで続けてきた取り組みを承認する
- PSI は不安定労働に対する条約を採択または更新するよう ILO と共に取り組む
- PSI は不安定労働の管理を QPS キャンペーンの明確な目的とし、これについて全国的な取り組みをアシストする
- PSI は情報の共有を促し、事例の情報に基づいて公表されるべき慣行の証拠を集める
- PSI は不安定労働への反対が、究極には市民の健康を危険にさらす慣行であるという証拠に基づいてなされていることを強調する文書や情報資料を提供する

よって、HSTFは以下に対するPSIの現在の取り組みを承認する

- a) 不安定労働のベースライン調査
- b) 保健部門における民営化の影響のメタ分析委託
- c) 不安定労働に関するGUF委員会の取り組み
- d) 労働者の権利の推進と前進

HSTFはPSIに以下を提案した。

- a) ILOと基準設定の取り組みに従事する
- b) 不安定労働の制限がQPSキャンペーンの明確な目的であるようにする
- c) グッドプラクティスとバッドプラクティスの証拠、不安定労働が患者、市民一般、労働者に与える影響の記録、を加盟組合間で集め、流布する。

特別追加セッション:看護師の問題

<p>看護師の問題だけに関する会議の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> このグループのアイデンティティは何か グループはどのような政治的声明を発し、この特別な政治経済的岐路を記念づけることができるか <p>看護師の問題だけに関する会議の実行可能性(長期的問題と持続可能性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師にとっての問題は、他のヘルスワーカーと大きく異なるのか 看護師の問題を別の流れで扱うことはできるか。または保健サービスという流れ一般と別の流れの両方で扱うことはできるか 看護師特有の流れを作るにはどのような方法がベストか <ul style="list-style-type: none"> 情報ネットワーク、または主に電子メールでか タイミングを見計らいながら定期的に会議(PSIのHSTFに追加するなど) 適切な手順を持つ既存の組織(PSI内など)のテーマ別項目に投資を行う 	<p>議長:ジュディス・キエジャ</p>
--	----------------------

合意により、PSIは、HSTFという独自の機会とその会場をふまえ、会議の進行と主催を行う立場となった。よって、看護師組合の関連機関が、会議を催し、議論に参加できるようになる。ジュディス・キエジャはこの特別セッションの議長を務め、議事録を作成した(ICNによる議事録への寄稿は以下を参照)。

過去10年間、看護師の国際ネットワークを設置する試みが幾度かなされてきた。最近では2010年7月にオーストラリアのシドニーにて、多くのPSI加盟組合がニューサウスウェールズ看護師連盟(NSWNA)年次会議に集まっている。会議では、PSIの支援のもと、そのようなネットワークを確立する試みがなされるべきだとの決定がなされた。ジュディス・キエジャは、2010年10月にPSI書記長と接触し、ジュネーブで開かれる2011年保健サービス作業部会(HSTF)にて追加会議を行う要請を行った。この要請は、会議がすべての保健部門加盟組合が参加できるべきであるという規定のもと、承認された。

2月15日夕方には、2011年HSTF会議の最終セッションの後、翌日のネットワーク会議の準備のための会議が開かれた。会議では、シンクタンクとしてのリソースだけでなく、安全な患者看護のスキルミクスといった看護師特有の課題に団体としての意見をまとめ、団体交渉が看護師の中核的権利として維持されるために、そのようなネットワークのニーズがあることで出席者の意見が一致した。

多くの看護師の加盟組合が、翌日2011年2月16日、ジュネーブのILO本部で開かれた1日会議に参加した。会議は実りが多かった。出席者は自己紹介を行った。

1. PSIが看護師の意見を代弁することについての議論

- UNISON(イギリス)は、看護師はPSI内最大の単独職種グループであり、世界の多くの地域で世界金融危機による打撃を大きく受けていることに留意した。国際看護師協会(ICN)の取り組みは高く評価され、団体交渉におけるPSIの役割に補完的な役割を果たす。看護師労働組合は、危機を前にした支援の確保と、グッドプラクティスに関する情報共有のためのネットワークに参加する必要がある。また、看護師の職業に関連した問題は注目を促すものであって、注目を独占するものではないことを強調した。他者を優先する訓練を受けている看護師は、自分を守るために必要なステップを講じる装備に乏しいことがあり、逆にケアを受ける人々にも害を及ぼす可能性もある。看護師数百人を解雇し、のちに患者340人が死亡したイギリスの病院の例を引用し、業界の圧力をより活用する必要があると述べた。UNISONは、このネットワークのニーズがあり、看護師労働組合は、持続可能なネットワークを確保して会議を閉幕する必要があるとの意見であった。ケベック州職業横断保健連盟(カナダ)は、このネットワークを設け、意見を主張し、看護師ほかヘルスワーカーが享受する市民の信頼を基盤に、他の労働組合と共に取り組む合意をした。

- 全米看護師連盟(アメリカ)は、看護師のつながりを深める発言力が必要であることを強調した。看護には大きな課題があり、看護師は国内外で相互の関係を保ち、共通の問題について共闘する責任を有する。
- 保健社会連盟(フランス)は、議論が断片化されれば、ヘルスワーカーが統一感を失う可能性があることに注意を促し、この取り組みの持続可能性をレビューするため、労働条件と看護の状況に関する調査を提案した。また、HSTFがヘルスワーカーの問題について、2日間議論を行ったことに触れた。看護師と看護士の労働条件について具体的な取り組みを盛り込んだ全般的な保健政策を検討する必要があるとの見解である。
- カナダ公務員組合(カナダCUPEは、HSTFで議論された問題と、看護師について挙げられた問題には共通点が多いことを指摘した。
- ニューサウスウェールズ看護師連盟(オーストラリア)は、ヘルスワーカーを分断する意志はなく、HSTFはすべての人々のためであると指摘した。また、非公式のネットワークと会議が、唯一審議中の提案であったことを指摘した。だが、これらの提案の理由は、勤務当番または予定表、スキルミクス、定員、安全な職員配置の問題で、その以外の労働条件に関する問題が、真に看護師の問題であることを強調した。
- ジャマイカ地方政府職員連盟は、カリブ地域の保健部門組合が、ゆるいネットワークなら問題はなく、より公式なものは希望しないと述べた。これは参考になるだろう。
- デンマーク看護師機関は、UNISONが提起した点に合意し、ICNとPSIの補完的な役割を歓迎した。
- 労働組合保健サービス連盟(ブルガリア)は、以前にもこの議論がなされたことを指摘し、PSIでこの情報を共有する機会が設けられたことを歓迎した。情報交換は有効であり、PSIの役割は情報の収集と共有であるとの見解である。

2. 国際看護師協会(ICN)に関するプレゼンテーション(ICNが提出した議題)

国際看護師協会(ICN)は、オブザーバーとしてHSTFに招かれ、また利害団体として看護師の問題に関する追加会議に招かれた。看護・保健政策コンサルタントのエリザベス・アダムスがICNの代表を務めた。

エリザベスが、ICNの役割をまとめた。ICNは世界1300万人以上の看護師を代表する全国看護師団体(NNA)135団体以上で結成される連盟である。1899年に創立されたICNは、看護師が運営している。ICNは全世界で看護師を率い、すべての人に質の高い看護を確保し、世界中で健全な保健政策を保証する。また、看護の知識の推進に努め、看護職が尊敬され、看護師が有能で満ち足りた存在であるよう取り組んでいる。

ICNは、看護と保健の改善に欠かせないと考えられる3つの主なプログラム分野に活動を特定・集中させている。ICNの3本柱として知られるこれら3分野で実施される取り組みの例は以下のとおり。

1. **専門的な実践:** 世界看護指導者機関、「変化のためのリーダーシップ」プログラム、看護実践国際分類
2. **看護の監督:** 基準の設定、出版ツール、傾向の読み取り、保健監督機関のとりまとめ、フォーラム(資格認定、監督機関)
3. **社会経済的福祉:** 前向きな実践環境を求めるロビー活動、職場の暴力への対処、交渉のリーダーシップ、国際看護人材センター(参照:<http://www.ichrn.org>)、看護師の移住に関する国際センター(<http://www.intlnursemigration.org>)、職場フォーラム

ICN職場フォーラムは、20年前に、アジア職場フォーラムは10年以上前に設立された。毎年各国の概要報告、賃金調査、看護プロファイル調査はウェブサイトで見ることができる。<http://www.icn.ch> 研究論文、概況報告書、財務状況表も閲覧できる。

ICNはパートナーと協力しながら、さまざまな組織と部門が支援するいくつかのプロジェクトを実施している。これらのプロジェクトは以下のとおりである:

* 能力を拡大し、ミレニアム開発目標（女子教育基金、ヘルスケアワーカー健康センターなど）に取り組むイニシアチブをとる

* ICNが他の組織と協働し、主な看護・保健トピックに関する特別な知識とリサーチを利用できるようにするための世界的プラットフォームを提供する（国際看護人材センター、看護師の移住に関する国際センターなど）

* 非常に重要な現在の世界的保健問題についてプログラム活動を支援する（前向きな実践環境、世界看護リーダーシップ、TB-MDR TB報告など）

3. 看護師ネットワークの管理に関する看護加盟組合の議論

この議論の結論

- PSIは契約のリストを作成する
- PSIのウェブサイトは、加盟組合と非加盟組合の看護師組合が利用できるものでなければならない

4. PSI看護師ネットワークのアイデア

出席者が特定したテーマ分野と活動分野

- 看護師のスキルミクス
- 看護師の比率
- 安全な人材配置とその構成
- 単純作業化
- 団体交渉
- 高齢者介護
- 求人と引き止め — 若者のヘルスケア参入を促し、すでにヘルスケアに従事する人々を引き止めること
- ケアの質に対する看護師の経済的価値。つまり、看護師と患者の適切な比率がケアの質の決定的要因であるという議論について詳しく説明する
- 労働時間が人材配置に与える影響
- ケアの質とサービスの利用権の関係を練る

5. 取組み分野に関する議論の成果

主な取組み分野2つが特定された。また議論の結果、検討する分野が挙げられた。

1. スキルミクスと、スキルミクスが安全な人材配置を行い、患者のニーズに確実に対処するうえで果たす役割、安全な人材配置のスケジューリングまたは勤務当番表の作成、職員の求人と引き止めへのつながり
2. 高齢者への介護について証拠を集めるため加盟組合その他にアンケート調査を行う案、および介護を行うヘルスケアワーカーの求人と特徴など、高齢者介護
3. 政府の制度が求人慣行、報酬レベル、健康安全基準によって異なることに留意しつつ、ある分科会が、職種に応じた労働時間の基準、患者と看護師の比率の幅について、国際的な基準の設置が可能かどうかを検討分野として提案した。移住を減らす一つの手段は、看護師に十分な賃金を支払うことであり、これにより基準的な目標は果たせるが、労働条件と安全衛生基準は重要な引き止め要因ではなかったことが認識された

6. 勧告

出席者は以下の勧告に合意した。

- すでにPSIの保健分野の年間行事で計画していた会議に追加する形でこの機会を設けてくれたPSIに感謝すべきである
- PSIは出席者がグループまたは個人として連絡を取り合えるよう、リストサーバを設置するべきである

- 出席者は、個別に、または新たに開発されたPSIのインタラクティブなウェブサイト(2011年3月23日、国連公共サービスデーに立ち上げ)を通じて、互いに連絡をとり、看護師の争議問題やキャンペーンが生じた場合はその都度情報を受信および配布すべきである
- 来年HSTF会議に合わせて、フォローアップ会議を開くべきである

添付資料1

PSI保健サービス作業部会 2011年度会議

2011年2月14日から2011年2月15日 ジュネーブILO

出席者リスト

アフリカ・アラブ諸国

ビクラマンドゥス・ビーソン	M	政府サービス職員連盟	モーリシャス
アユバ・フィリプス・ワバ	M	ナイジェリア医療保健労働者組合	ナイジェリア
イレーネ・ノンサンサ・ミランガ	F	スワジランド看護師連盟	スワジランド
アコワ・ピンダ ボウエシジャウ	F	トーゴ全国公衆衛生職員組合	トーゴ
サミア・レタイフ・ボスラマ	F	保健一般連盟	チュニジア

アジア太平洋

ジュディス・キエジャ	F	ニューサウスウェールズ看護師連盟	オーストラリア
シティヴェニ・トゥヴォ	M	フィジー看護師連盟	フィジー
ヤミニ・アドバ	F	全インド・カントンメント委員会職員連盟	インド
鈴木崇文	M	全日本自治団体労働組合	日本
ロスニ・ブツェ・アジス	F	マレーシア看護師組合	マレーシア
アショカ・アペナヤカ*	F	公共サービス看護師組合連合	スリランカ

米州

マリア・アパレシダ・ゴドイ デ・ファリア	F	ブラジルCUT社会保障労働者全国同盟	ブラジル
ジェニファー・ホワイトサイド	F	カナダ公務員組合	カナダ
ミシェル・ボウクレア	F	ケベック保健関連専門職連合	カナダ
ロドリゴ・ロペス・ガルシア	M	全国看護師連盟	コスタリカ
ヘレン・デービス・ホワイト	F	ジャマイカ地方政府役員連盟	ジャマイカ
オクタヴィオ・ロハス・カバレロ	M	全国社会健康保険職員組合	ペルー
カンディス・オウリー	F	アメリカ教員連盟	アメリカ合衆国
カレン・ヒギンス	F	全米看護師連合	アメリカ合衆国
マイケル・ライティ	M	全米看護師連合	アメリカ合衆国

欧州

イワン・アンゲロフ・ココロフ	M	保健サービス労働組合連盟	ブルガリア
スラワ・ザラントノワ	F	保健サービス労働組合連盟	ブルガリア
イワンカ・ブレンコワ	F	チェコ共和国保健サービス・ ソーシャルケア労働組合	チェコ共和国
キム・オストヤコブセン	M	デンマーク看護師機関	デンマーク
タルジャ・ホンカランピ	F	保健・ソーシャルケア職員組合	フィンランド
サリ・コイヴニエミ	F	保健・ソーシャルケア職員組合	フィンランド
マリヴオンヌ・ニコール	F	保健社会連盟	フランス
マーガレット・ステフェン		同一サービス組合	ドイツ
ジェーン・ピリンジャー	F	国際公務労連	アイルランド
アン・ベリット・ラフォス	F	ノルウェー看護師機構	ノルウェー
ロルフ・ハンセン	M	ノルウェー自治体一般職員組合	ノルウェー
ゲイル・アダムス	F	UNISON	イギリス
シアン・デビース	M	UNISON	イギリス

ゲスト

エリザベス・アダムス	F	国際看護師協会	スイス
ジュリア・レア	F	国際労働事務所	スイス
リーナ スー	F	国際労働事務所	スイス
スーザン・ウィルバーン	F	世界保健機関	スイス
ジェーン・レスブリッジ	F	公共サービス国際研究所	イギリス

PSI

ピーター・ウォルドルフ	M	国際公務労連	PSI
オディレ・フランク	F	国際公務労連	PSI
ジェネヴィエヴ・ジエンシアノス	F	国際公務労連	PSI
チディ・キング	F	国際公務労連	PSI
テレサ・マーシャル	F	国際公務労連	PSI
三井暢子	F	国際公務労連	PSI

*早退